

天龍峡温泉交流館「ご湯っくり」について

産業経済部観光課

- ◇天龍峡等への誘客、市民及び来訪者の交流促進、地域や周辺施設等と連携した取り組み等を行うための拠点として、平成 29 年 4 月にリニューアルオープンしてから 3 年が経過しようとしている。
- ◇平成 31 年 4 月～令和 2 年 2 月までの 11 か月の実績について、次のとおり報告する。
- ◇なお、平成 31 年度の年間利用者の動向等については、前年度との比較分析等を含め、6 月定例会の産業建設委員会協議会において報告を予定している。

1. 平成 31 年 4 月～令和 2 年 2 月までの利用状況

①「若がえりの湯」月別の推移（単位：人）

月(営業日数)	合計(日利用)	一 般	会 員	左同伴	割 引	無 料	回数券
4 月(26)	4,173(161)	1,706	1,477	368	301	60	171
5 月(26)	3,631(140)	1,669	1,319	278	139	102	124
6 月(26)	3,208(123)	1,243	1,306	257	195	70	137
7 月(26)	2,971(114)	1,072	1,318	247	87	130	117
8 月(27)	3,911(145)	1,803	1,171	312	92	395	138
9 月(26)	3,324(128)	1,409	1,218	243	111	173	170
10 月(26)	3,375(130)	1,207	1,347	279	355	54	133
11 月(26)	4,325(166)	1,935	1,530	326	323	48	163
12 月(27)	4,180(155)	1,582	1,652	447	262	57	180
1 月(25)	4,106(164)	1,748	1,620	376	76	54	232
2 月(00)	3,989(160)	1,677	1,573	362	114	66	197
合計(261)	41,193(144)	17,141	15,531	3,495	2,055	1,209	1,762
H30.4～H31.2	38,130(135)	15,482	14,567	3,307	2,059	1,297	1,418
前年比	108.0(106.7)	110.7	106.6	105.7	99.8	93.2	124.3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
31	4,173	3,631	3,208	2,971	3,911	3,324	3,375	4,325	4,180	4,106	3,989	41,193
30	3,719	3,413	3,056	2,577	3,679	3,393	3,549	4,052	3,780	3,745	3,167	38,130
前年比	112.2	106.4	105.0	115.3	106.3	98.0	95.1	106.7	110.6	109.6	126.0	108.0

②「そばの郷」月別の推移（単位：人）（上段は月利用人数、中段は日利用人数、下段は営業日数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
1,577	1,093	715	676	1,170	888	920	1,861	779	686	10,365
61	42	44	26	45	34	24	72	34	29	41
26	26	26	26	26	26	26	26	23	24	255

※H30計：10,260人(40人/日 255営業日) 前年比：101.0%(102.5%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
31	1,577	1,093	715	676	1,170	888	920	1,861	779	686	10,365
30	1,533	1,054	822	838	1,256	817	1,060	1,496	748	636	10,260
前年比	102.9	103.7	87.0	80.7	93.2	108.7	86.8	124.4	104.1	107.9	101.0

2. 11か月の動向について

- ・令和元年11月「天龍峡大橋」「そらさんぽ天龍峡」「天龍峡ガイド施設」よって館天龍峡が開通またはプレオープンし、新たな拠点施設が出来上がった。
- ・この効果がどこまで波及したかについては、今後検証する必要があるが、11月以降の利用者が前年に比べて多くなっていること、特に11月は天龍峡大橋開通日以降、利用者の増大があったことから、大橋開通等が一定の効果をもたらしているといえる。
- ・また、冬季期間（12月～2月）の利用者数については、昨年より増加しており、2年目となる年末年始の営業が定着してきている裏付けともとれる。さらに、料金も手軽ということもあり、冬場での家庭風呂利用から「若がえりの湯」への利用促進にも繋がった。
- ・オープン年からの課題となっている一定の時間帯に利用者が集中し大変な混雑を生じていることについては、ホームページでの呼びかけ等によりその影響範囲が若干緩和されているとの報告を受けているが、施設の規模等から、効果的な対策を見いだせないままである。
- ・「そばの郷」については、ほぼ昨年並みの集客となっているが、施設を利用した高校生レストランの展開や「天龍峡プチマルシェ」の開催などが順次浸透してきていることから、今後も誘客の1つとして進めていきたいと思っている。
- ・天龍峡観光案内所においては、四季を通じた天龍峡の魅力発信（写真のアップ）など、ホームページへの情報掲載による紹介やPR等を行っている。
- ・引き続き指定管理者と協働し今田平農業法人や各種団体、周辺企業等を中心に営業訪問、パンフレット配布等を行い、当該施設利用者に温泉交流館への誘客をPRするなど、利用促進に向けた行動を進める。
- ・特に今年度開通した天龍峡大橋に訪れていただいている方に、一人でも多く「ご湯づくり」や「遊歩道」「よって館」等の施設を利用していただき、地域の賑わい創出に向けた行動を進めていく。